

いわきの歴史を伝える文化財

市教育委員会は、五月一日、新たに一件の有形文化財と一件の有形民俗文化財、二件の史跡を市指定文化財に指定しました。今回の指定により、市指定文化財は百九十件となりました。

有形文化財

○浄應寺山門 浄應寺所有
一間一戸の薬医門で、切り妻造り、銅板ぶきの門であり、中世の館跡豊間館の裏門だった門を移築したといわれています。



浄應寺山門

有形民俗文化財

○御宝殿稚児田楽・風流の用具類 熊野神社所有
毎年七月の海の日とその



御宝殿稚児田楽・風流の用具類 (一例)

術など、中世の門である痕跡が現在も多く残っており、いわき地方における中世の建造物として保存・保護すべき建物です。

前日に、御宝殿熊野神社で行われる祭礼に使用される用具類です。この祭礼は、地方的特色が顕著で、芸術史的にも価値が高いとして国の重要無形民俗文化財に指定されています。用具についても、独特の形状をされており、特に獅子頭は、中世の制作と推定されるなど大変貴重な

史跡

○大館城跡 好間町下好間市所有

嘉吉二(一四四二)年、岩城隆忠が岩崎氏の守備していた大館城を入手し、文明十五(一四八三)年に岩城氏の居城となつてから、慶長九(一六〇四)年、鳥居氏がいわきへ入封するまで、いわき地方の中心の役割を果たした城跡です。平成二十六年に、初めて発掘調査が行われ、掘立柱建物跡四棟や土師器片、中国産の白磁や青磁などが出土しました。現在も曲輪の跡などが残っており、中世のいわき



大館城跡

地方の歴史を語る上で欠かせない城跡で、大変貴重な史跡です。

○三坂城跡 三和町上三坂・中三坂 上三坂区、中三坂区など所有
岩城氏が勢力を拡大するにつれて、いわき地方の北西を守る要として機能した城跡です。

開発の手が入らなかつたこともあり、曲輪や堀切の跡が、現在でもよく確認できます。いわき地方の戦国時代の最終段階の城郭と考えられ、大変貴重です。



三坂城跡

○お問い合わせ
文化振興課文化財係
☎22・7546

平成28年度消防庁長官表彰

同表彰は、消防業務に長年従事し、その成績が優秀で、他の模範と認められる消防団員などを表彰するものです。

＝年齢は3月1日現在。支団(所属、階級)順・敬称略＝

- ▷小倉敏夫(66)＝第1支団副支団長 平中平窪
- ▷草野久徳(55)＝第1支団分団長 平下荒川
- ▷大藤義信(61)＝第4支団副分団長 常磐松が台
- ▷小松一雄(61)＝第5支団副分団長 内郷白水町
- ▷生天目光吉(57)＝第6支団分団長 川前町川前
- ▷松浦拓(57)＝第6支団副分団長 川前町川前
- ▷猪狩守司(61)＝第7支団副分団長 四倉町
- ▷出羽修三(64)＝第7支団団員 四倉町

第28回危険業務従事者叙勲

同叙勲は、警察官や自衛官、消防吏員など、著しく危険性の高い業務に精励した方に贈られるものです。

＝年齢は4月29日現在。50音順・敬称略＝
瑞宝双光章

- ▷山内長夫(70)＝元警視正 勿来町
- ▷渡邊光男(66)＝元市消防監 中央台
- ▷渡辺雄治(61)＝元2等陸尉 好間町上好間
- ▷佐々木静夫(71)＝元県警部補 好間町下好間
- ▷高田俊夫(69)＝元市消防司令長 泉町



表彰 いわき市民スポーツ栄誉賞

3月22日、昨年10月に和歌山県で開催された「第23回全国クラブチームサッカー選手権大会」において、東北地区代表として出場し、優勝を果たしたいわきFCに、市民スポーツ栄誉賞を授与し、その功績をたたえました。



表彰を受けたいわきFC

遠野地区と田人地区に地域おこし協力隊を配置

地域振興課地域振興係 ☎22-7414

4月から遠野地区と田人地区に、新たに1人ずつ地域おこし協力隊を配置しました。これにより、地域おこし協力隊は遠野地区が2人、田人地区が1人、川前地区が1人となりました。

遠野地区

地域おこし協力隊の青木冬馬さんは、遠野地区に伝わる伝統的和紙「遠野和紙」の製作技術の習得と、地域活性化を図るために活動していきます。



青木冬馬さん

遠野和紙の製作技術を習得するとともに、和紙を通して地域の皆さんと交流していきたいです。

田人地区

地域おこし協力隊の舘野眞歩さんは、ブログなどを活用した情報発信や、誘客促進、交流人口の拡大など、田人地区の活性化を図るために活動していきます。



舘野眞歩さん

田人の良さを発信するとともに、地域の方と一緒に新しい取り組みをしていきたいです。

未来を拓く いわきの

なり 生 業



新たな「しごとづくり」を進める①



インキュベートルームの相談窓口

さまざまな創業支援を受けた市川英樹さん



○活力を維持するため本格的な創業支援を実施
東北有数の工業都市に発展した本市でしたが、活力を維持していくためには、既存企業の発展と同様に、新たな「しごとづくり」に向け、創業者を次々と生み出していく土壌も必要です。このような考えの下、市では、平成十九年にラトブ六階にオープンしたいわき産業創造館の中に、インキュベートルームを設置し、本格的な創業支援に取り組み始めました。また、国の認定を受けた本市の創業支援事業計画においては、市内の産学官金が連携して、相談窓口の設置や創業支援セミナーの開催、資金調達の支

○本市の創業支援

産学官金が連携して 創業者を総合的に支援

- ・相談窓口を設置
- ・創業支援セミナーを開催
- ・資金調達を支援（クラウドファンディング、市制度融資、地域ファンド）
- ・見本市・展示会への出展を支援
- ・第二創業・事業承継相談を実施

創業者 新たな「しごと」をつくる

※産学官金の主な団体

- 【産】いわき商工会議所、いわき地区商工会広域連携協議会、NPO法人TAKIAGE Japan、いわきリエゾンオフィス企業組合、mizDesigns株式会社
- 【学官】いわき産学官ネットワーク協会、市、市起業家サポートネットワーク
- 【金】日本政策金融公庫いわき支店、東邦銀行、福島銀行、ひまわり信用金庫、いわき信用組合

○切れ目のない支援で創業者が誕生
創業支援の特徴として、NPO法人TAKIAGE Japanによるプロジェクト創出イベント「浜魂」の開催、いわきリエゾンオフィス企業組合によるビジネスプランコンテストの開催、民間企業や金融機関によるクラウドファンディング（*）の充実などが挙げられます。福島田んぼアートプロジェクトに取り組む市川英樹さんは、創業支援セミナーを受講した後、浜魂でのプロジェクト提案により協力を集めました。そして、ビジネスプランコンテストで事業の周知を図り、クラウドファンディングを利用し、必要な資金を調達することができました。

○Uターンした若者などによる新たな動き
現在、同館のインキュベートルームには、UターンやUターンした若者が入居しています。ITを活用した医療機関向けの業務支援や、クラウドファンディングのサービス提供事業を展開するなど、震災後の復興と創生に向けた、新たな動きも加速しています。*起業家が製品・サービスの開発、アイデアの実現などの目的のために、インターネットを通じて不特定多数の人から、資金や協力を募る手法

市民のひろば

魅力あふれるいわきの創生
～いわきの芸術・文化・スポーツ～

レポート②37

今月号は、本市初の本格的なサンバチーム「アカデミアサンバいわきベレーザ」会長の二村浩史さんに、設立の経緯や活動などについてインタビューした内容をお伝えします。



二村浩史さん（アカデミアサンバいわきベレーザ会長）

Q チームを設立した経緯について教えてください。
東京でサンバをしていたので、いわきでもやりたいと思いい、知人に声をかけたことがきっかけです。せっかくならチームを作り、多くの方にサンバを楽しんでもらいたいと考え、平成二十六年、いわき初の本格的なサンバチーム「アカデミアサンバいわきベレーザ」を設立しました。
いわきは、フラやジャーンがら念仏踊り、吹奏楽など、音楽やダンスが盛んな地域なので、サンバをやる下地があったことも決め手でした。
Q チームの旗に市の花などを使っている理由を教えてください。
震災を経験し、いわきの美しい自然や元気を取り戻したいという思いから、ツツジやカモメをチームバンデira（旗）に取り入れています。



打楽器中心の迫力ある演奏とダンスで観客を魅了

また、いわきのチームであることを全面に出すとともに、ポルトガル語で美しい、素晴らしいという意味の言葉を用いて「いわきベレーザ」という名前を付けました。
サンバは、躍動感のある音楽とダンスで、やっている方も見ている方も元気に、そして楽しい気持ちになります。私たちは、いわきの皆さんに元気になってもらいたいという思いを持ちながら、活動しています。
Q 活動について教えてください。
大きなイベントは、いわきサンバカーニバルです。三月に開催されましたが、首都圏からもダンサーが参加してくれて、盛り上がりました。他にも、いわき街なかコンサートや企業のイベントにも参加しています。



サンバを通じて多くの方に元気や笑顔を届けるメンバーの皆さん

さらに、ボランティアで福祉施設を訪問しています。ペットボトルで作ったガンザ（シェーカー）を配って、一緒にサンバを奏でます。中には、泣いて喜んでくれる方もいて、やりがいを感じています。
Q 今後、どのようなことに取り組んでみたいですか。
他のジャンルの音楽とのコラボレーションをしてみたいです。例えば、タヒチアンとの融合で、いわきならではの音楽が生まれるかもしれません。音楽を通じて、さまざまな方と交流していきたいです。
そして一番の夢は、いわきでパレードをすることです。サンバといえばパレード。いわきを練り歩きながら、皆さんと一緒に楽しくサンバを奏で、元気や笑顔を届けたいです。